

経営比較分析表

佐賀県 武雄市

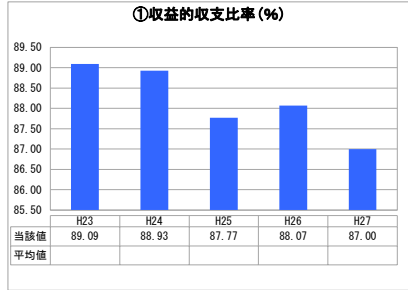
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	20.26	99.28	4,104

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
49,965	195.40	255.71
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
10,069	5.34	1,885.58

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



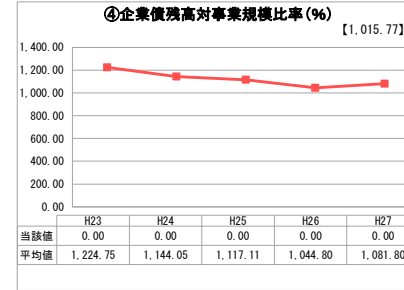
「単年度の収支」



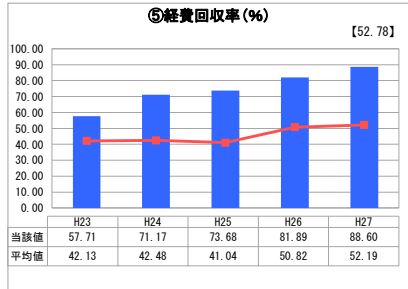
「累積欠損」



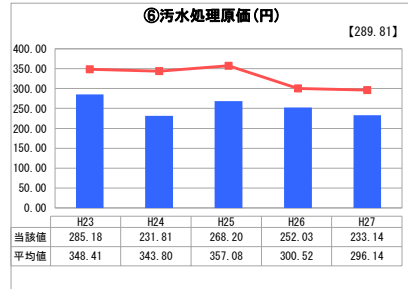
「支払能力」



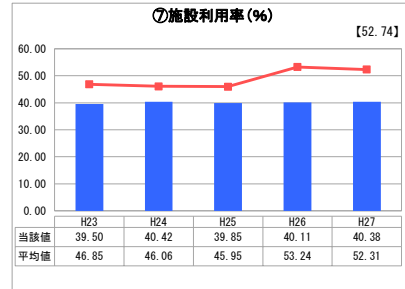
「債務残高」



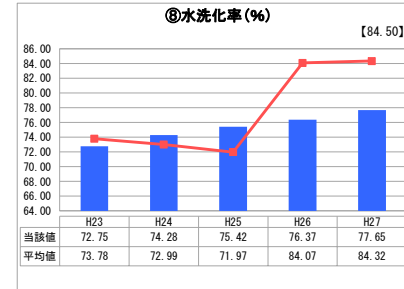
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

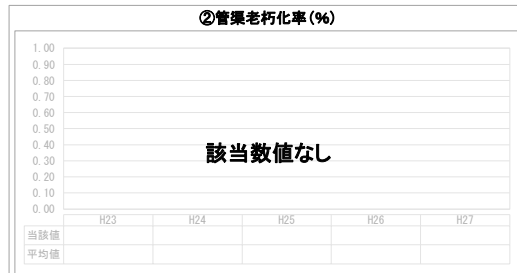


「使用料対象の捕捉」

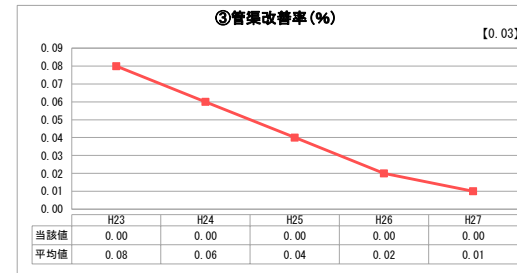
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率が年々低くなっているが、料金収入に対する営業費用の比率は低くなっていることから、汚水処理原価が下がり経営状況はよくなっている。その結果経費回収率は年々向上しており全国平均値よりも良い状況にある。水洗化率は類似平均よりも低い状況にある。水洗化率は類似平均よりも低い状況にあることより、人口減少に伴い施設の適正化を検討する必要がある。

2. 老朽化の状況について

当市の農業集落排水の供用開始は平成11年度であり、市内全8箇所すべての処理施設の設置後11年を経過し、一部の機器が老朽化している状況である。そのため、維持管理経費の削減を含めた処理施設の機器(省電力化対応)の更新を平成27年度から順次実施しているところである。

全体総括

水洗化率は類似団体より低い状況にあり、収益的収支比率、経費回収率がいずれも100%を下回っている。本市は現在、農業集落排水事業の新規建設事業を行っておらず、今後、供用区域の拡大の予定はない。したがって、現供用区域内での接続率を高めつつ、料金水準、施設の適正化、維持管理費の見直しを行い、健全な経営が行えるよう努めていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債務高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。